

# 第19回地域関連研究発表会開催報告

主催 公益社団法人東三河地域研究センター

第19回地域関連研究発表会は、平成25年3月18日（月）に名豊ビル7階で開催されました。本年からは、愛知工科大学のご協力を賜り、豊橋技術科学大学、愛知大学、豊橋創造大学とともに東三河地域の4大学によるものとなりました。

地域に関連深い研究成果の発表が下記のプログラムで実施され、行政・企業・市民の方々61名が聴講しました。（詳細は、機関誌「東三河地域研究」通巻120号を参照。）

## ☆発表者とテーマ☆

- ①「スイス・バーゼル広域都市圏における国境を跨ぐ広域ガバナンス」  
高松 亮太氏（豊橋技術科学大学大学院建築・都市システム学系修士2年）
- ②「機能・設備面からみた小学校の避難所運営に関する研究—豊橋市の小学校を事例として—」  
大野 彩氏（豊橋技術科学大学建築・都市システム学系4年）
- ③「豊橋駅前商店街の活性化に向けて—地域貢献活動報告—」  
大野 健太郎氏（愛知大学地域政策学部 地域政策学科 地域産業コース2年生）  
清水 愛斗氏（愛知大学地域政策学部 地域政策学科 地域産業コース2年生）
- ④「高齢社会の現状と問題点」  
芝崎 智治氏（豊橋創造大学情報ビジネス学部キャリアデザイン学科4年）
- ⑤「B級ご当地グルメによる町おこしに関する調査」  
大江 澄南氏（豊橋創造大学情報ビジネス学部キャリアデザイン学科4年）
- ⑥「デマンドバス配車システムに関する研究」  
飛田 勇太氏（愛知工科大学工学部情報メディア学科4年）
- ⑦「カラクリ BOOKS『竹島と俊成さん』の制作 ～蒲郡の民話を動く iPad アプリに～」  
中 神 基 文 氏（愛知工科大学工学部情報メディア学科3年）

## ☆各大学のコメントーター☆

豊橋技術科学大学建築・都市システム学系	教授 大貝 彰先生
愛知大学地域政策学部地域政策学科	教授 岩崎正弥先生
豊橋創造大学経営学部・豊橋創造大学大学院経営情報学研究科	教授 川戸和英先生
愛知工科大学工学部情報メディア学科	教授 宇野新太郎先生



## 地域関連研究発表会（発表者の方々、コメントーターの先生方）

左から川戸和英先生（豊橋創造大学）、宇野新太郎先生（愛知工科大学）、飛田勇太さん、中神基文さん、高松亮太さん、大野健太郎さん、大野彩さん、大江澄南さん、芝崎智治さん、大貝彰先生（豊橋技術科学大学）、岩崎正弥先生（愛知大学）



第19回地域関連研究発表会の様子

2013年（平成25年）第3種郵便物認可 東日新

### ③ 3月19日（火）

## 学校の避難所機能考察

大野彩さん  
大野彩さん「機能・設備面からみた小学校の避難所運営に関する研究」について発表

豊橋技術科学大学大学院建築・都市システム学系修士2年の大野彩さんが、地域の課題をテーマに論文を執筆し、第19回地域関連研究発表会（18日、豊橋駅前ビルで開かれた）主催は東三河地域研究センター（神野信昭理事長）が17分ずつ、8人がそれぞれの研究テーマについてプレゼンテーションを行った。豊橋市の小学校を避難所とした際の避難所としての機能確保に関する研究は、避難時の生命確保に関するものでなく、その後の避難生活についての考察を主とした。豊橋市の小学校を避難所とした際の避難所としての機能確保に関する研究は、避難時の生命確保に関するものでなく、その後の避難生活についての考察を主とした。豊橋市の小学校を避難所とした際の避難所としての機能確保に関する研究は、避難時の生命確保に関するものでなく、その後の避難生活についての考察を主とした。

避難所運営を行う過去の災害に関するアンケート調査、教員へのヒアリング、平面図からの空間分析を研究し、今後まちづくりの参考にしたいと研究を深めて、避難所マニュアル作成をめざす。大野さんは話した。そのほか、B級グルメによる町おこしに関する研究や、デマンドバス配車システムに関する研究などの発表が行われた。（森美香）